

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス S O R A		
○保護者評価実施期間	2025 年 3 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 28 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025 年 3 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 28 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 4 月 10 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域を意識しながら一人一人にどのような療育が必要なのかを従業者全員で考え取り組んで行く。その際従業者によって進め方などが違うように、同じ様にすすめて行けるように支援会議などで入念に話している。	日々の活動、取り組みをそれぞれの特性やスキルを踏まえて考えよりきめ細やかに個別支援できるようにしています。	今取り組んでいることを継続して行っていき保護者様からも意見、要望を聞き取る。また一人一人のアセスメントする力を高めていけるように努めます。
2	日々の活動は利用者様自身も自分で考え決定する力の向上の為に選択肢を使う(絵カード、文字におこす)などして進めていく	利用者様からの意見を尊重しながら尚且つ偏らないように活動の内容を考えている	子どもたちの発達段階をよく認識した上で小グループに分けより主体性を伸ばせるように取り組んでいます
3	サービス提供時間の中で「動」と「静」の時間を作る	落ち着いて過ごせるようにエネルギーの発散できる時間を設けてから集中して取り組めるプログラムにしている	メリハリを持てるように運動だけに限らず地域資源を利用しながらの活動の取り組みも組み込むことにより地域交流へと繋げていけるように努めています

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	曜日によりスキルの違いが大きい時の活動内容に苦戦する時がある	一人一人の特性と「得意」「苦手」の部分掘り下げてどのような課題に取り組んでもらうかを考えないといけない	ひと月の療育プログラムを個別に考えてグループ分けして行ってみる。また職員のアセスメントする力の向上も目指していきます。
2	従業者のスキルにもバラツキがある	発達障害についての知識やアセスメントする力が弱く、支援方法などの熟知に欠けていると思われる	事業所内の支援会議や研修だけでなくとどまらず事業所外で行われる研修にも積極的に参加していく
3			